

取扱説明書

スパルタンカーボン
 SPARTAN CARBON



スパルタン
 SPARTAN





この度はSPARTANヘルメットをご購入頂きまして誠にありがとうございます。
 ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、その手順に従ってください。
 説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。
 ヘルメットのケアや使用に関して質問がある場合は販売店に相談してください。
 事故や重大なケガにつながる恐れがあります。

もくじ



安全にお使いいただくために……………	2	シールド……………	9
各部の名称……………	5	サンバイザー……………	10
サイズの選択……………	6	内装のお手入れ……………	12
使用の為のアドバイス……………	7	ノーズマスク・イージーフット・チンパー ……	15
顎ヒモ……………	8	ベンチレーション……………	15

安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

● シンボルマークの意味

 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることがあらわします。
---	---

警告



舗装された道路でのバイク運転にのみ使用してください。
オフロードやスノーモービル、自動車等での使用はしないでください。



安全運転をお願いします。
このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
重大なケガから最大限に保護をするために、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。



ヘルメットは購入後3年で交換してください。
ヘルメットは、使用する状況により時間経過と共に劣化していきます。ヘルメットに損傷がなくても購入してから3年後に取り換えることを推奨します。
ヘルメットを使用するごとにダメージ又は劣化が無いことをチェックしてください。



頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。
大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。
小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

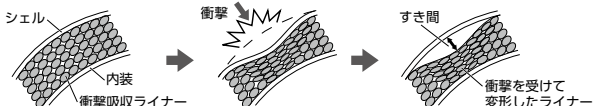


大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。
ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なケガにつながる恐れがあります。

■ 衝撃吸収前

■ 衝撃吸収時

■ 衝撃吸収後



⚠ 警告



トンネル及び夜間走行の注意

夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。視認力の低下及び視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。

本製品を分解・改造しないでください。

絶対にドリルで穴をあけたり、切ったり、塗装をしないでください。

改造はヘルメットの強度を著しく弱めます。

⚠ 注意



ヘルメットは、注意して扱ってください。

- ・ヘルメットの上に座ったり、地面等に落下させたりしないでください。
- ・使用前点検を必ず実施してください。内装等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行中に外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。ベンチレーション・内装等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- ・顎ヒモは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。顎ヒモの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なケガにつながる恐れがあります。
- ・ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。



常に環境の変化に気を配って運転してください。

ヘルメットをかぶっている間は、周囲の音が聞こえ辛くなる、視野が狭くなる、頭部を動かすことが制限される場合があります。これらの状況の変化に応じてバイクを運転してください。



本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。

内容については各自治体にお問い合わせください。



ヘルメットお手入れ時は絶対に石油、石油製品、化学薬品、溶剤を使用しないでください。

絶対に上記の溶剤等のガスにさらさないでください(例えば、バイクの燃料タンクのキャップをヘルメットの上に置くことなど)。ヘルメットに外傷が見られなくても、これらの薬品によってライナーに深刻なダメージを受ける可能性があります。ヘルメットのお手入れ時には、中性洗剤やぬるま湯につけた柔らかい布を使用してください。

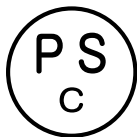


高温になる場所に長時間放置しないでください。

直射日光の当たる場所、夏場の車内や暖房器具の近くなど高温になる場所では保管しないでください。



SGマークはSafe Goods(安全な製品)の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める安全水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク(Product Safety=製品安全の略号)を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

■乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

■SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり、一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース・サーカス等)に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

■製品の欠陥による事故がおきた場合は

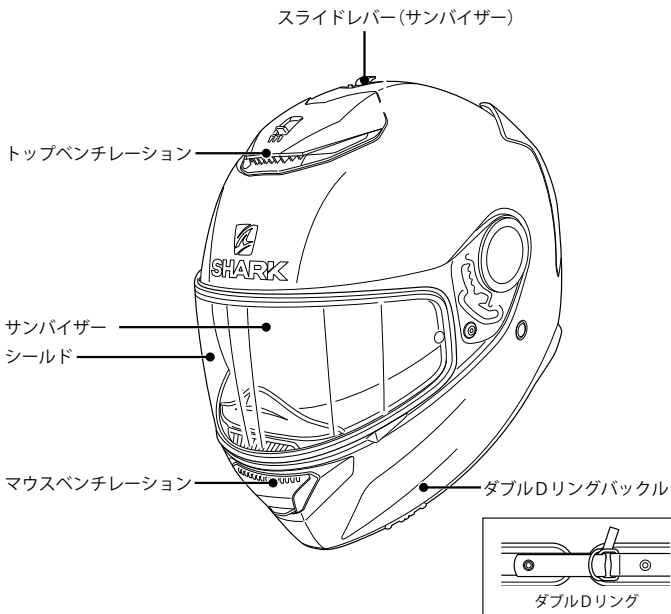
- 1.製品の欠陥による事故がおきたら、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL(03)-5808-3303
- 2.「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
- 3.事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
- 4.以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階

一般財団法人製品安全協会 TEL(03)-5808-3303

各部の名称



■ サイズ

ヘルメットサイズ	頭の外周 (cm)
S	55～56
M	57～58
L	59～60
XL	61～62

内装サイズ	S	M	L	XL
チークパッド	30	27	30	25

⚠ 注意

- ベンチレーションやサンバイザー、可動部は運転中動かさないでください。バイクのコントロールを失い、重大な事故につながる恐れがあります。

サイズの選択

⚠ 警告

- ヘルメットの保護能力には限度があります。このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- 保護能力を最大限に発揮するため、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。ヘルメットが適切に装着されない場合は、ヘルメットが脱げ、重大な事故につながる恐れがあります。

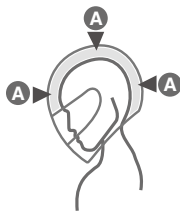
ヘルメットサイズの選択

ヘルメットは頭部のサイズに一致するように設計されています。
頭のサイズを測定するために、眉の約2.5cm上の頭の外周を巻き尺で計測します。

※頭のサイズが2つのサイズの間だった場合は、最初に小さいサイズを試してください。
※新しいヘルメットを使用する場合、以下に記載されているように必ず、頭頂部がヘルメットに当たるように深く被り、ヘルメットの前方が眉毛の上にあたるように装着し、顎ヒモが正しく装着されていることを確認してください。

1. ヘルメットが頭全体にきちんと合っており、チークパッドが少々きつく感じる必要があります。

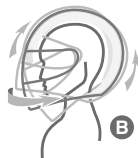
●Aを参照



2. 顎ヒモが装着された状態で、ヘルメットが左右・上下に必要な以上に動かないことを確認してください。

頭を左右・上下に動かした際、肌が引っ張られる感覚がある必要があります。

●Bを参照



3. ヘルメットの後部を下から押し上げた際や顎ヒモの部分から押し上げた際にヘルメットが脱げてしまう場合は、大きすぎるため小さいサイズを選んでください。

⚠ 警告

- 絶対にヘルメットの中で髪を束ねないでください。また、パッドを入れての位置調整をしないでください。
- ヘルメットのサイズに関して質問がある場合、販売店に連絡してください。
- ヘルメットは時間の経過とともに内装の装着感が変化する可能性があります。上記の確認事項はヘルメットを使用している間は定期的に行ってください。着用感が変化し、サイズ合わなくなった場合、ヘルメットを買い換えてください。

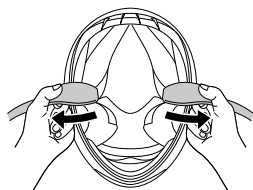
⚠ 注意

- 絶対にヘルメットを他人に貸さないでください。
- サイズの適さないヘルメットは絶対に使用しないでください。

使用の為のアドバイス

ヘルメットを被る

1. 頭に被りやすくするため両方の顎ヒモを掴みしっかり外側に広げ、正しい位置を確保してください。
2. 顎ヒモを正しい位置で留めてください。緩みや痛みを感じる場合は、適切な位置になるよう調整してください。



ヘルメットを脱ぐ

顎ヒモを外します。被ったときと同様に、両方の顎ヒモをしっかり外側に広げヘルメットを外します。

⚠ 注意

- 「顎ヒモを適切に締められない」または「サイズが合っていない」ヘルメットは使用しないでください。
- 顎ヒモは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。顎ヒモの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なケガにつながる恐れがあります。
- お手入れ時は絶対に石油、石油製品、化学薬品、溶剤を使用しないでください。

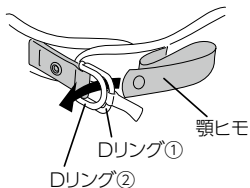
顎ヒモ

- ヘルメットの保護能力を最大限に発揮するため、顎ヒモを適切にご使用ください。
- 切断したり、穴を開けたり、ボタンや他のアイテムを付けるなどの改造を行わないでください。
- 顎ヒモが切れてしまったヘルメットは使用しないでください。

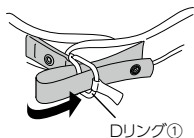
ダブルDリングシステム

次の手順に従ってください。

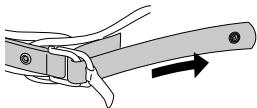
1. 顎ヒモをDリング①②に通します。



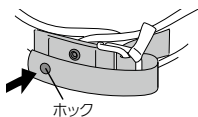
2. 顎ヒモの先をDリング②から折り返し、Dリング①に通します。



3. 顎ヒモをしっかり締め付けます。



4. 更に顎ヒモを折り返し、ホックを止めます。

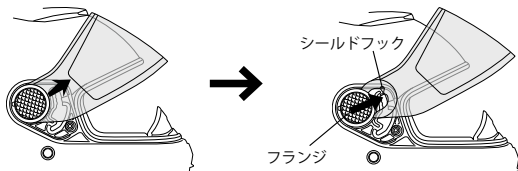


シールド

シールドはツールを使わずに簡単に取り外せるため、手入りが簡単です。

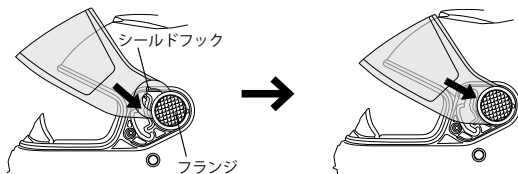
取り外し

1. シールドを最上位まで上げます。
2. シールドを矢印方向に広げながら片方側を引き抜きます。
3. 同様に反対側も外します。



取り付け

1. シールドを開いた状態の角度でヘルメットにあてがいます。
2. 両側のフランジ内側にシールドフックを軽く差し込みます。
3. 両側に均等な力をかけ、フックをはめこみます。



⚠ 注意

- シールド取付け後は、シールド開閉作業を数回繰り返し、フックが確実に取り付けられている事を確認してください。シールドが適切に取り付けられていないと、走行中にシールドが外れ重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告

- 着色またはミラー加工されているシールドとサンバイザーの併用は視界を制限され大変危険ですので絶対におやめください

サンバイザー

スライドレバーでサンバイザーを使用することができます。

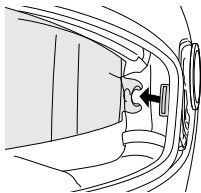
取り外し

1. スライドレバーでサンバイザーを完全に出した位置にセットします。

スライドレバー

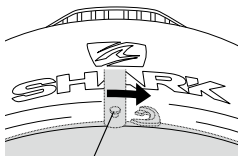


2. 側面から矢印方向へサンバイザーを外します。同様に反対側も外します。



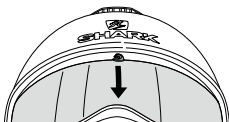
3. 矢印の通りにサンバイザーを動かしてホックから外します。

※ピンセットなどを使って、ホックを押さえながら外してください。



ホック

4. ホックから外れたらサンバイザーをゆっくり下げ取り外します。



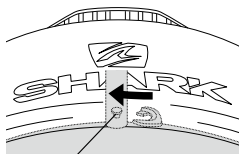
取り付け

1. スライドレバーを最も前側に移動します。

スライドレバー

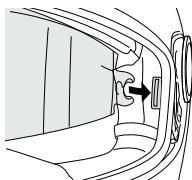


2. 図のようにサンバイザーを動かしてホックを掛けます。
※ピンセットなどを使ってホックを押さえ、確実に取付けてください。



ホック

3. 側面から矢印方向へサンバイザーをしっかりと差し込みます。同様に反対側も差し込みます。



⚠ 注意

- サンバイザーを取り付けた後、スライドレバーで正しく上下するか確認してください。がたつき等があると、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告

- 走行中にサンバイザーを、上げたり下げたりしないでください。
- 夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。視認力の低下及び視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。

内装のお手入れ

肌に接触するパーツは、汗を良く吸収する布地で作られており、カビとバクテリアを抑制するために表面処理をしてあります。

⚠ 注意

- パッドには磨耗や破損の恐れがあります。磨耗の程度はメンテナンス頻度や使用期間により異なります。
- パッドが損傷した場合、パッドの交換を行ってください。交換用パッドは販売店に問い合わせをお願いします。
- ヘルメットを装着する際にはヘルメットの装着感を確認してください。
P6参照(サイズの選択)

お手入れについて

布地のパーツは洗濯が可能です。パーツの損傷を避けるために次の手順に従ってください。

1. チークパッドと頭部パッドはぬるま湯または薄めた中性洗剤で手洗いします。
※洗浄力の高い洗剤ではなく、薄めた中性洗剤または家庭用石鹸を使用してください。
2. パーツをヘルメットに装着する前に布地を完全に乾かしてください。
※陰干ししてください。ドライヤーやアイロンは絶対に使用しないでください。
3. ヘルメットを使用する前に全ての内部のパーツが乾いていることを確認してください。

⚠ 注意

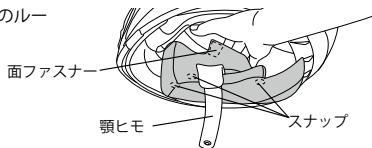
- 損傷を受けたパッドは、使用しないでください。転倒した際にヘルメットが脱げてしまい重大な事故につながる恐れがあります。

内装の取り外し

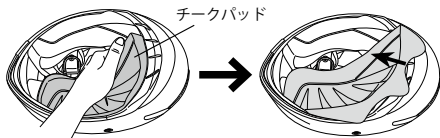
1. チンカバーを収納します。



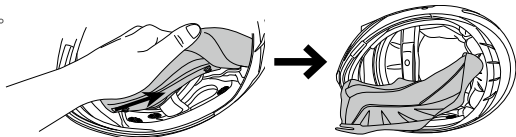
2. チークパッドの面ファスナー、スナップ(3か所)から外し、顎ヒモをチークパッドのループから引き抜きます。



3. チークパッドをしっかりとつかみ、後頭部から引き抜きます。

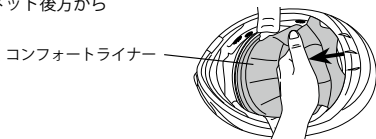


4. ヘルメットに沿ってチークパッドを後ろ側に滑らせて外します。

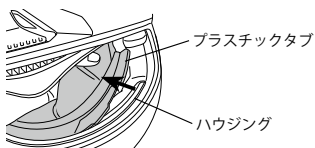


5. 同様に反対側のチークパッドも外します。

6. コンフォートライナーをヘルメット後方から引き抜きます。

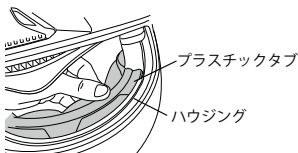


7. 正面のハウジングに取り付けられたプラスチックタブを端から引き抜きます。頭部パッドを外します。

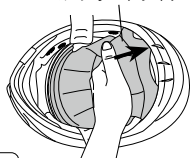


内装の取り付け

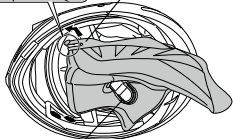
1. チンカバーを収納します。
2. 頭部パッドをヘルメットの適切な位置にセットし、ヘルメット正面のハウジングにプラスチックタブを差し込みます。
3. コンフォートライナー後方のプラスチックタブを差し込みます。
4. チークパッドに顎ヒモを通します。
5. チークパッド先端の凹部分を帽体側のホック裏側にセットします。この時、プラスチックタブは折れた状態で差し込みます。
6. 側面のプラスチックタブを後ろ側から順に差し込みます。
7. スナップ(3か所)、面ファスナーを留めます。
8. 同様に反対側のチークパッドも取り付けます。
※頭部パッド・チークパッドが正しくヘルメットに収まっているか確認してください。



コンフォートライナー

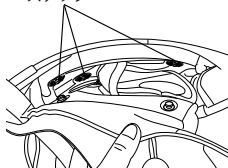
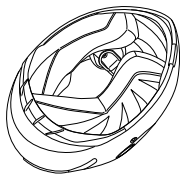


プラスチックタブ



顎ヒモ

スナップ



⚠ 注意

- チークパッドおよび頭部パッドは、ヘルメットを適切に装着するための重要なパーツです。内装の取り外しまたは取り付けに、ご不明点が御座いましたら販売店にお問い合わせください。
- 絶対に内装を外した状態でヘルメットを使用しないでください。転倒した際に重大なケガにつながる恐れがあります。

ノーズマスク・イージーフィット・チンカバー

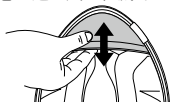
ノーズマスク

取り外し可能な曇り止めマスクです。
横方向にスライドし、ホックから取り外せます。



チンカバー

外気の巻き込み風を軽減できます。



イージーフィット

ヘルメットの両側はポケットのような形状をしており、メガネがより快適に収まるようになっています。



⚠ 警告

- 走行中に、チンカバーを動かさないでください。
事故やケガをする恐れがあります。

ベンチレーション

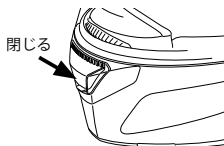
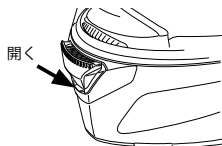
上部ベンチレーション

トップベンチレーションから、空気が頭上に入り空気を入れ替えます。



下部ベンチレーション

マウスベンチレーションは、新鮮な空気の流れがヘルメット内部に直接届きます。



SHARK ホームページはこちら

URL <http://sharkhelmet.jp>



お問い合わせ先：株式会社 L I N K S
〒604-8025 京都市中京区下大阪町349-6 イシズミビル7F

製造元：ACS (Advanced Composite System)

11/1 Moo 4 Soi Pra Apaimanee Sukhumvit Road Huayyang Klaeng Rayong
21110 THAILAND

Made in THAILAND (ACS)